

○津軽森林管理署金木支署の「採材等現地検討会及び森林作業道作設検討会」
に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年11月26日（火）に青森県五所川原市の飯詰山国有林で開催された「令和6年度 採材等現地検討会及び森林作業道作設検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、金木支署と署管内の林業事業体合わせて20名の参加を得て開催されました。金木支署長の挨拶後、署の担当者より昨年度の生産・販売の実績、採材の方法等について説明があり、その後、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備した広葉樹3本の試供木を対象に3班に分かれ各班1本ずつ検討を行いました。各班による試供木の検討後、各試供木について担当した班から採材案の説明があり、それに対して青森事務所より採材の解説等を行うとともに東北森林管理局管内の需要動向、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進等についても説明しました。また、造材のデモンストレーションも行われ、元口の木口の腐れの深さを確認することができました。今回の試供木は、木口面の半分程度が腐れていましたが、1m程度切り落とすと腐れはほとんど止まっていました。実際の試供木を前に参加者間で意見交換をすることで欠点など採材に関する認識を共有することができました。

現地ではその後も引き続き、森林作業道作設検討会が行われ、作業道作設の留意点や各事業体で行っている工夫等について意見交換が行われ、事業体間での有意義な情報交換の場となりました。

最後に青森事務所から全体の講評と労働安全等についてお話をさせていただき、採材等現地検討会及び森林作業道作設検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



(広葉樹の採材検討)



(腐れの深さ確認)